

筑波大学ソーシャルインパクト推進室企画

2026 年度 国立台湾大学との学生交流プロジェクト募集要項

A Project to Discuss and Learn with Students of National Taiwan University

1. 概要

国立台湾大学の学生との短期学生交流（オンラインと対面）を通して、台湾への理解を深めるとともに、日本と台湾の生活、社会や文化の同異について語り合い、多文化共生社会について考えるプロジェクト。

2. 募集対象

学群生および大学院生（修士課程に限る）で、英語によるコミュニケーション能力の向上を希望する者。なお、応募条件としてプロジェクトの全日程（6.参照）に参加できることを必須とする。

3. 募集人数

20 名（最少催行人数：10 名）

4. 目的

- 学生生活、社会、将来等について相互に語り合い、新たな気づきや刺激を得ること。
- グループで課題を設定し、ディスカッションを行うことで、英語力およびコミュニケーション能力を向上させること。
- 異文化への理解を深め、多文化共生社会で活躍できるグローバル人材としての素養を身に付けること。

5. 実施方法

筑波大学および国立台湾大学から参加する各 20 名（合計 40 名）の学生を対象に、1 グループ 4 名（両大学から 各 2 名）で構成する 10 グループを編成し、各グループにおいてオンラインおよび対面によるディスカッションと成果発表を実施する。学生は、台湾に関する情報を書籍およびインターネット（14.参照）から収集し、その中で関心を持った課題についてグループでディスカッションを行う。プロジェクト終了後にレポートを作成し提出する。

6. 日程

2026 年 7 月 15 日（水） 11:30～12:10 スチューデント・コモンズ(1A203)：学内ミーティング（対面）
プロジェクトの概要；グループミーティングやグループディスカッションの説明；航空券の購入の注意事項

7 月 15 日（水） 18:00～20:00：国立台湾大学とのオンラインミーティングでグループの初顔合わせ

7 月 16 日（木）～9 月 10 日（木）：各グループでオンラインミーティング（グループで 4 回

以上ミーティングを重ね、9月13日の発表課題を決め、プレゼンテーションの準備をする)

9月初旬：筑波大生のオンラインオリエンテーション(日時確定次第お知らせします) グループワークの進捗確認；興味を持って調べた台湾に関する情報の共有；渡航日の流れの確認；宿泊施設の部屋割り振りなど。

9月11日(金)：台湾へ渡航；台湾大学の宿泊施設に集合；グループメンバーと対面

9月12日(土)：台湾大学のサークル勧誘のイベントに参加

9月13日(日)：シティーツアー；台湾・日本の生活、社会や文化の同異についてプレゼン。

9月14日(月)：帰国

9月28日(月)：レポートの提出期限

7. 応募方法

参加を希望する学生は以下の応募用URLにアクセスしWeb申請書を入力してください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/9Z03kKrXZM>

8. 応募書類一式：

①Web申請書(記入後送信)

②肖像の使用に係る承諾書兼個人情報の取扱いに関する同意書^{※1}

③語学(英語)能力証明書(TOEIC/TOEFL/IELTS/英検等、もしあれば)^{※2}

^{※1} Web申請書からダウンロードし、紙媒体に手書きで記載し、PDF化してWeb申請書にアップロードするまたは紙媒体で7月15日の学内ミーティングで提出してください。

^{※2} 英語能力証明書(スコアシート)をスキャン(写メでも可)したWeb申請書にアップロードしてください。

9. 応募締切：2026年7月1日(水) 12:00

10. 選考基準

応募者多数の場合、申請書記載内容、語学能力等から総合的に判断し、選考を行います。

11. 選考結果通知：2026年7月6日(月)にメールにてお知らせします。

12. プロジェクト参加費用について

航空券：約4万円(LCC利用)～約7万円(1人当たり・往復；詳細は7月15日に説明しますが、説明後に航空券は各自で購入していただきます。購入やフライト確認のため、e-ticketの写しを提出していただきます。)

宿泊：約2万7千円(1人部屋・3泊；2人部屋の場合はその半額；宿泊費は、宿泊施設に到着後、台湾ドルの現金またはクレジットカードでお支払いください。)

食事代および台湾国内交通費：参加者の自己負担。

自己負担想定額：約8万円～約11万円(成田空港または羽田空港までの往復交通費は含まれ

ていません。)

1 3. その他の注意事項

- ◆ 本プロジェクトは多文化共修活動なので、デジタルバッジ（ゴールドバッジ）は発行します。
- ◆ 本プロジェクトは、学群生対象の授業科目【8331172】「多文化共修による課題解決実習（海外）A」として1単位を取得することが可能です。また、大学院生の授業科目【0A00323】「多文化共修による課題解決実習(海外)」として1単位を取得することが可能です。履修にあたっては、年間もしくは学期ごとの履修科目の単位数の登録上限に留意し、懸念がある場合は所属教育組織へご相談ください。なお、TWINSからの履修登録はできません。さらに、授業科目を履修しなくても、参加は可能ですが、その場合でもレポートの提出は必要です。
- ◆ 本プロジェクトへの参加者は、Teams で作成する本プロジェクト用のチームへ参加いただきます。主に学生同士の交流に利用します。本学からの事務的な連絡は、メールまたは Teams で行います。プロジェクト参加に必要な連絡体制が確保できていないと判断された場合は、参加を取り消すことがありますのでご注意ください。
- ◆ 学生本人の都合によるキャンセルにより発生した費用は学生本人の自己負担となります。
- ◆ 参加者が10名に満たない場合は、プロジェクトは中止となります。あらかじめご了承ください。
- ◆ 旅券の有効期限を必ず確認してください。日本国旅券以外の所持者については国籍によって台湾に入国するためにビザ申請または渡航承認システムを事前申請が必要となります。なお、国籍によってこのプロジェクトに参加できない場合もあります。
- ◆ 参考文献の例：台湾を知るための72章(中央 302.224-A31 一般図書)；台湾を知るための60章(中央 302.224-A31 一般図書)；現代台湾を知るための60章(第2版)(中央 302.224-A93 一般図書)；<https://ja.wikipedia.org/wiki/台湾>。

本件問い合わせ先:

筑波大学ソーシャルインパクト推進室

social.impact@un.tsukuba.ac.jp

※問い合わせはメールでお願いします